

平成 28 年 6 月 10 日



各 位

株 式 会 社 U B I C

代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏

(コード番号：2158 東証マザーズ)

(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)

問 合 せ 先 管 理 本 部 長 谷 口 正 巳

電 話 番 号 03-5463-6344

(訂正) 平成28年 5 月 16 日 公表の「2016年 3 月 期 決 算 説 明 資 料」の一部訂正について

本日公表の「(訂正・数値データ訂正) 修正後発事象の発生に伴う「平成28年 3 月 期 決 算 短 信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」に基づく当社米国子会社EvD、Inc. の売上高の訂正に伴い、5 月 16 日に公表いたしました「2016年 3 月 期 決 算 説 明 資 料」について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

訂正があったページにつき、訂正前と訂正後の資料を表示して添付いたします。訂正がなかったページを含む訂正後の全説明資料は当社ウェブサイトに掲載しています。[http://v4.eir-](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=ir_material_for_fiscal_ym&sid=24795&code=2158)

[parts.net/v4Contents/View.aspx?template=ir_material_for_fiscal_ym&sid=24795&code=2158](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?template=ir_material_for_fiscal_ym&sid=24795&code=2158))

尚、訂正の理由につきましては、本日公表の「(訂正・数値データ訂正) 修正後発事象の発生に伴う「平成 28 年 3 月 期 決 算 短 信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

以上

訂正前

2016年3月期
第4四半期連結業績説明会
(抜粋)

2016.6.10

2016年3月期連結損益計算書 (訂正前)

(単位:百万円)	2015年3月期		2016年3月期				前年比 増減	2016年3月期 修正通期予想		
	Q4	年度合計	Q1	Q2	Q3	Q4			年度合計	
売上高	1,824	6,274	1,726	2,694	3,178	3,059	10,659	4,384	10,500	
売上原価	953	3,143	1,035	1,391	1,672	1,730	5,830	2,687		
売上総利益	871	3,131	691	1,302	1,506	1,329	4,829	1,697		
売上比率	48%	50%	40%	48%	47%	43%	45%	-4%		
販売費及び一般管理費	829	2,865	714	1,258	1,393	1,281	4,648	1,783		
営業利益	42	266	-22	43	112	47	180	-85		240
売上比率	2%	4%	-1%	2%	4%	2%	2%	-2%		2%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	0	-167	-45	45	-5	63	57	225		
経常利益	42	434	22	-1	118	-15	123	-310		230
売上比率	2%	7%	1%	0%	4%	0%	1%	-5%		2%
特別利益(-)・損失(+)	0	0	0	0	0	26	26	26		
法人税等合計	22	172	40	118	77	-25	211	39		
少数株主利益	1	1	0	2	1	1	5	4		
当期純利益	18	260	-18	-123	39	-18	-121	-381	-50	
売上比率	1%	4%	-1%	-5%	1%	-1%	-1%	-5%	0%	

- 売上：Q4に予定していた高利益率のプロジェクトが次期にずれたものの、EvD, Inc.を買収した効果に加え、NYレビューセンター本格稼働によるレビュー売上の増加も増収に貢献した
- 原価：人工知能KIBITを使った新規事業開発費とレビューにかかる変動費により増加
- 販管費：買収関連費用255百万円、顧客関連資産及びのれんの償却費用180百万円、新規事業関連費用432百万円等により増加
- 利益：原価・販管費の増加に加え、急激な円の高騰による為替インパクトの影響もあり、当期は121百万円の純損失となった

(日本基準)

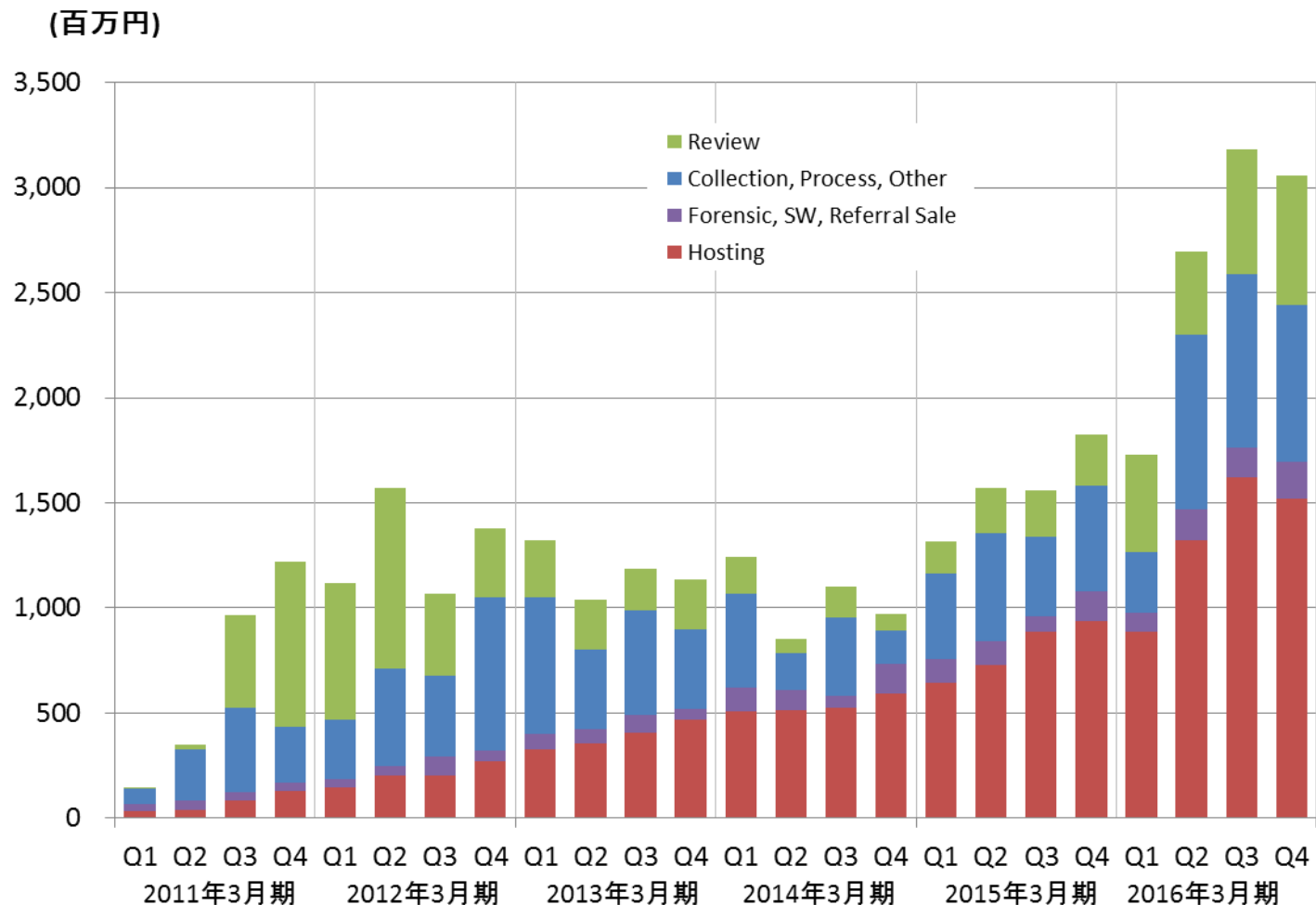
2016年3月期連結貸借対照表 (訂正前)

(単位:百万円)	2015年3月期				2016年3月期				2015年3月比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	
資産の部										
現預金	1,237	1,903	2,095	2,726	2,527	2,353	2,254	1,798	-927	-34%
売掛金	1,216	1,386	1,318	1,569	1,471	2,914	3,004	2,983	1,413	90%
その他流動資産	400	463	439	327	427	645	735	749	422	129%
流動比率	326%	342%	306%	319%	295%	95%	163%	161%	-157%	
有形固定資産	716	748	788	783	807	906	1,122	1,110	326	42%
ソフトウェア	857	839	847	871	876	882	842	878	7	1%
のれん、顧客関連資産		498	543	541	541	3,953	4,522	4,157	3,615	
その他固定資産	591	823	803	822	1,050	1,190	1,148	1,322	499	61%
固定比率	64%	60%	61%	60%	65%	145%	160%	167%	99%	
資産合計	5,020	6,662	6,837	7,641	7,703	12,846	13,630	12,999	5,357	70%
負債・純資産の部										
流動負債	876	1,098	1,259	1,447	1,502	6,195	3,686	3,439	1,991	138%
固定負債	514	493	422	973	935	1,635	4,927	4,776	3,803	391%
純資産	3,629	5,070	5,155	5,220	5,265	5,015	5,016	4,782	-438	-8%
負債・純資産合計	5,020	6,662	6,837	7,641	7,703	12,846	13,630	12,999	5,357	70%

- 流動資産：EVD買収による売掛金の増加
- 固定資産：EVDの顧客関連資産及びのれんの計上による増加
- 流動負債：未払費用、未払金及び1年内返済予定長期借入金の増加
- 固定負債：EVD買収のための長期借入金、繰延税金負債の増加
- 為替の影響：当第4四半期の円の急騰から、のれん・顧客関連資産が減少

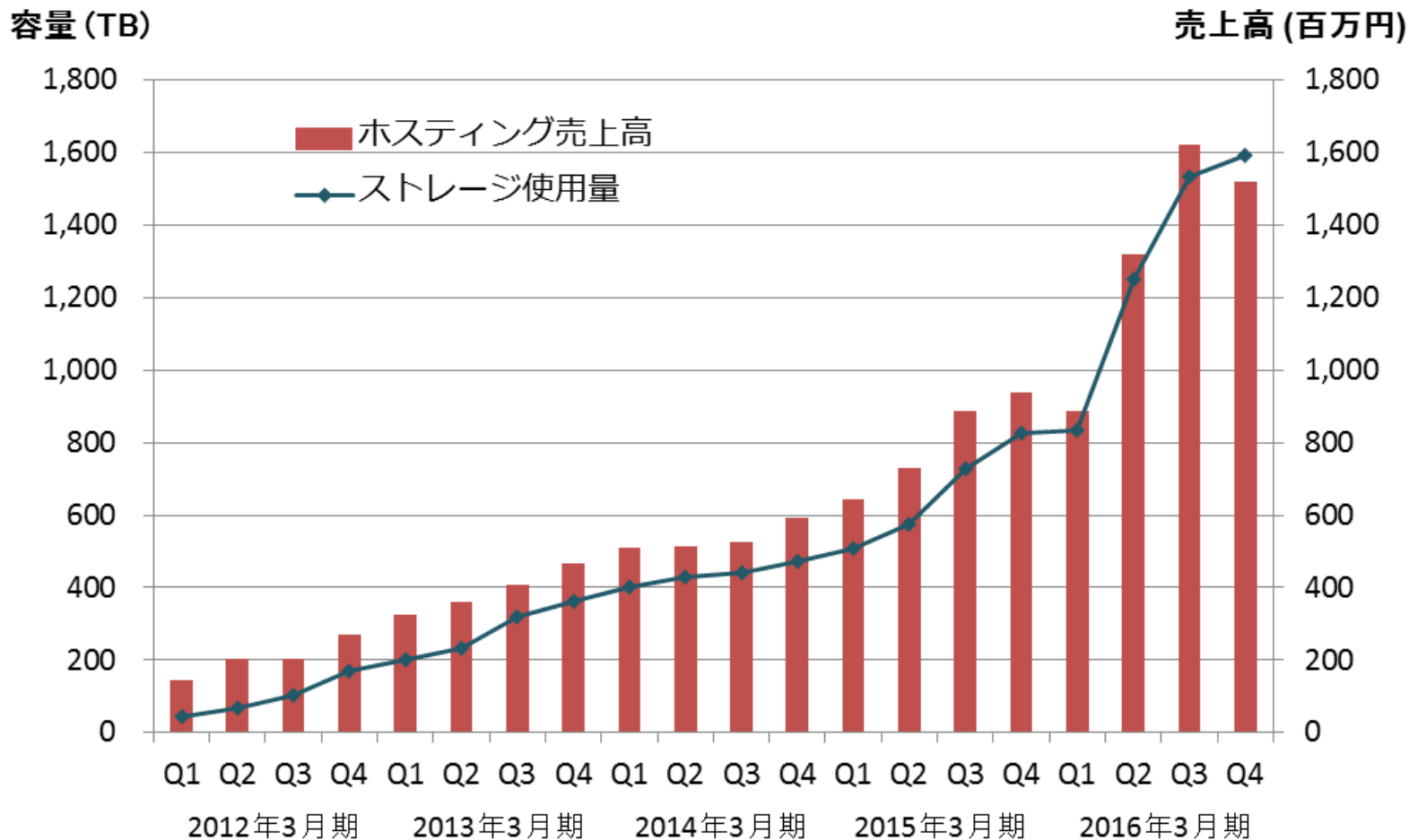
(日本基準)

連結売上 / サービスタイプ別 (訂正前)



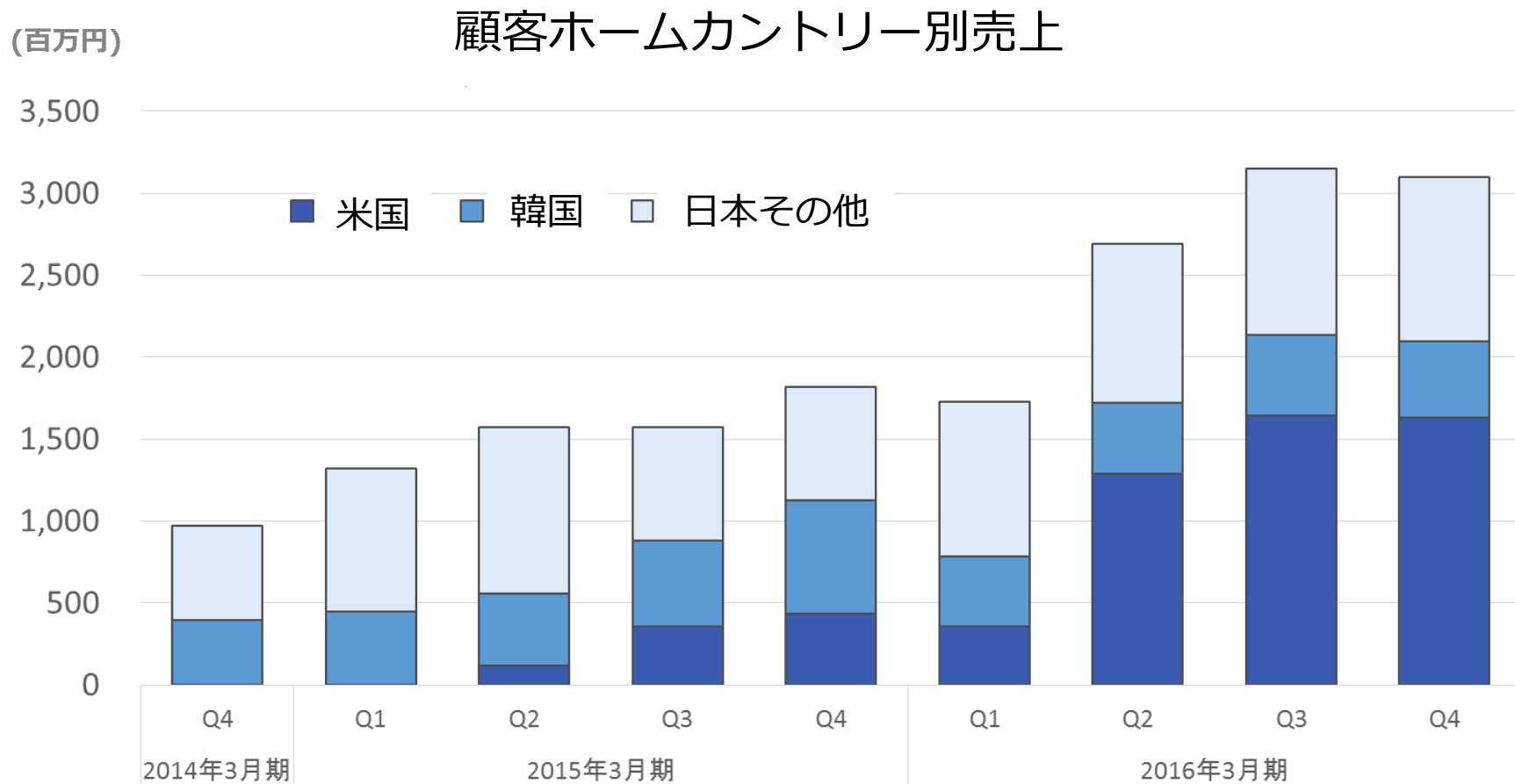
(日本基準)

インテリジェンスクラウドのストレージ使用量 / ホスティング売上高 (訂正前)

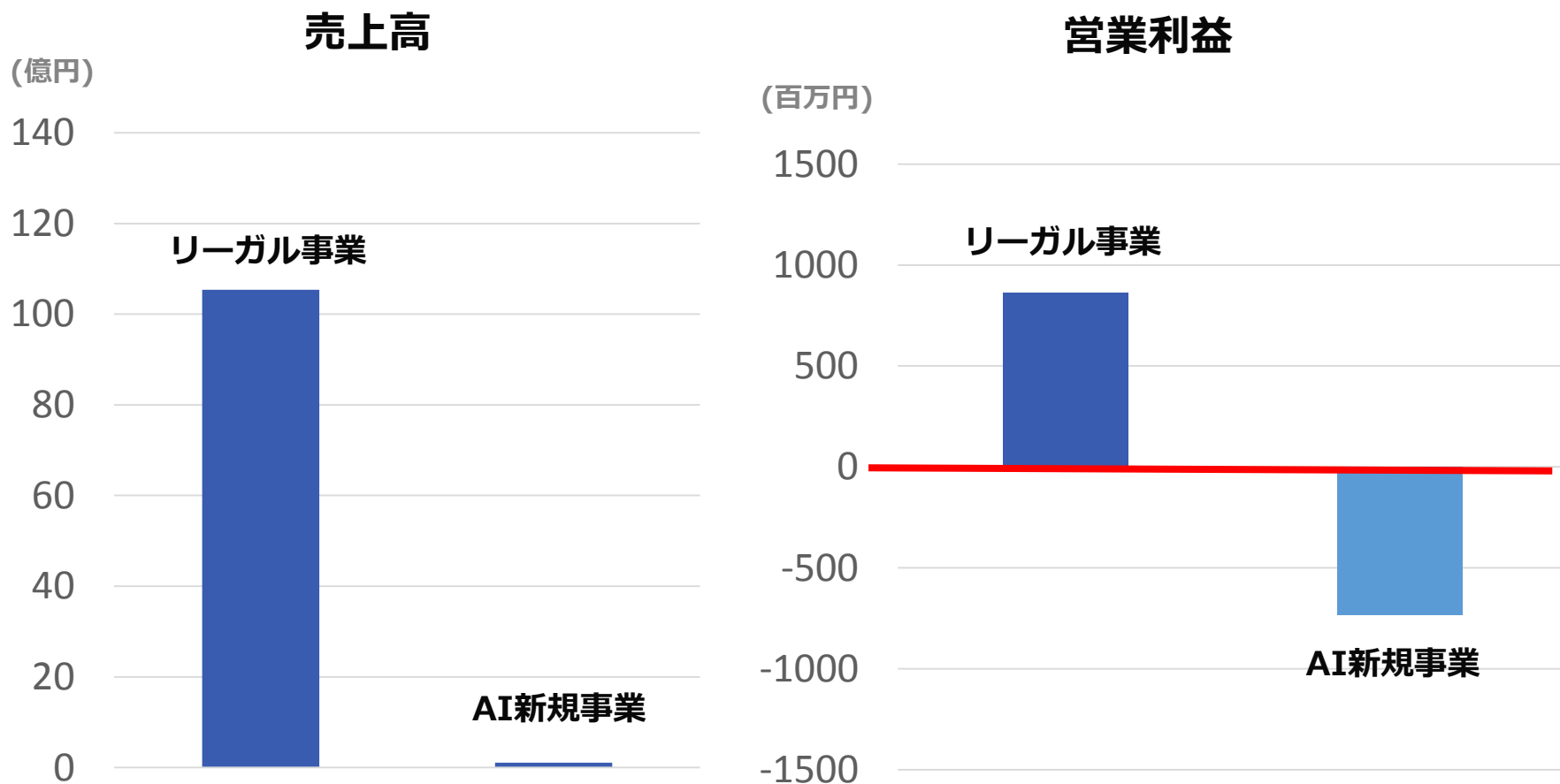


(日本基準)

米国・韓国セクションからの売上 (訂正前)



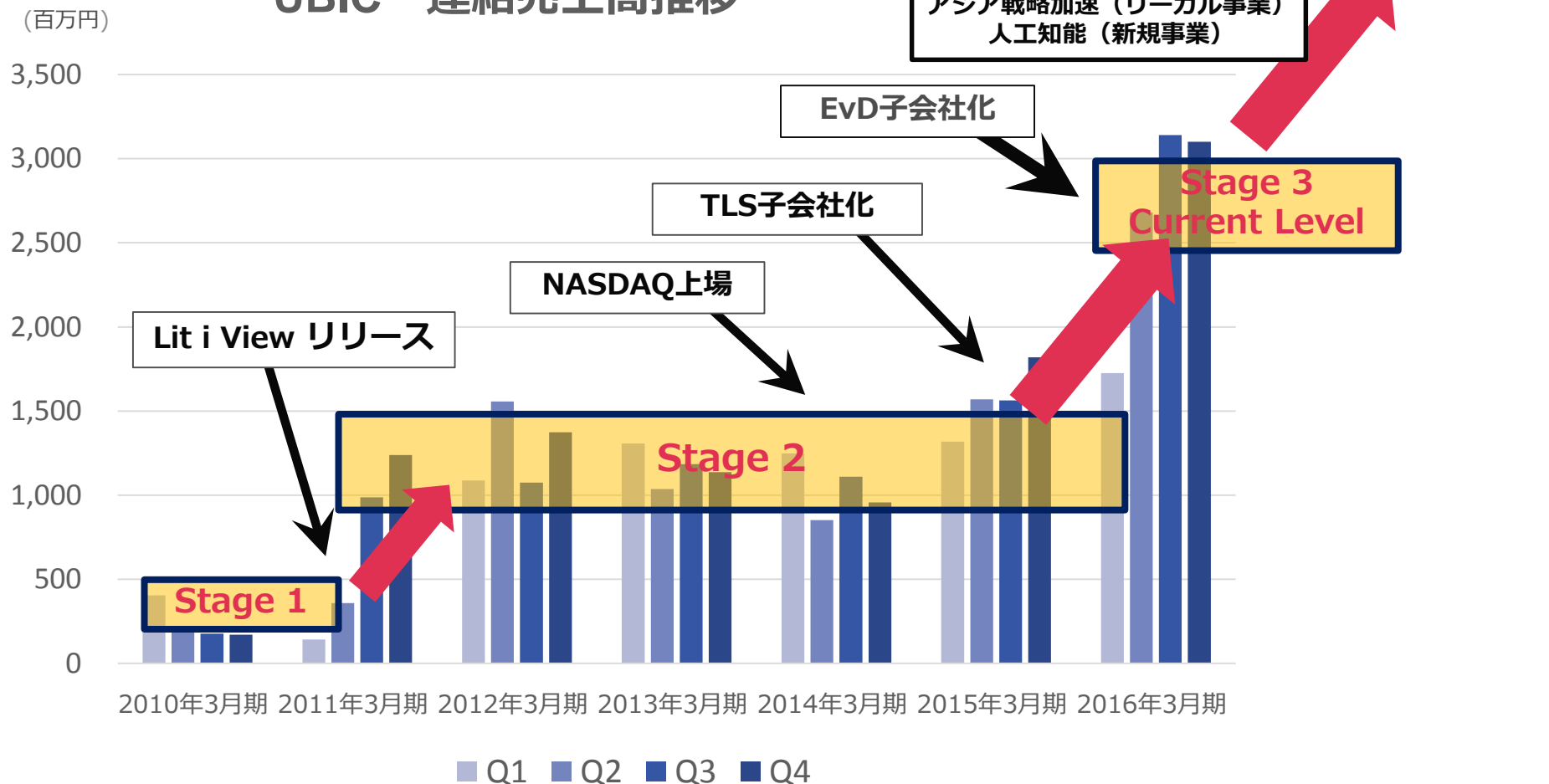
2016年3月期リーガル事業・AI新規事業の売上比較 (訂正前)



リーガルビジネス： M&Aの効果もあり大幅売上増。
AI新規事業： AI新規事業体制構築を開始。投資先行モード。

Next Levelへの成長戦略 (訂正前)

UBIC 連結売上高推移



2017年3月期 ガイダンス (訂正前)

(単位: 百万円)	2016年3月期	2017年3月期ガイダンス	増減
売上高	10,659	13,100	2,441
売上原価	5,830		
売上総利益	4,829		
売上比率	45%		
販売費及び一般管理費	4,648		
営業利益	180	95	-85
売上比率	2%	1%	
営業外収益・費用 (Net)	57		
経常利益	123	70	-53
売上比率	1%	1%	
特別利益(-)・損失(+)	26		
法人税等合計	211		
少数株主利益	5		
当期純利益	-121	0	121
売上比率	-1%	0%	

- リーガルビジネス売上は安定した増加を見込んでいる。そこから生み出された収益をAI事業の拡大に投資し、将来の成長や競争力強化を狙う
- 配当予測：AI事業構築への投資を優先するため、無配とする

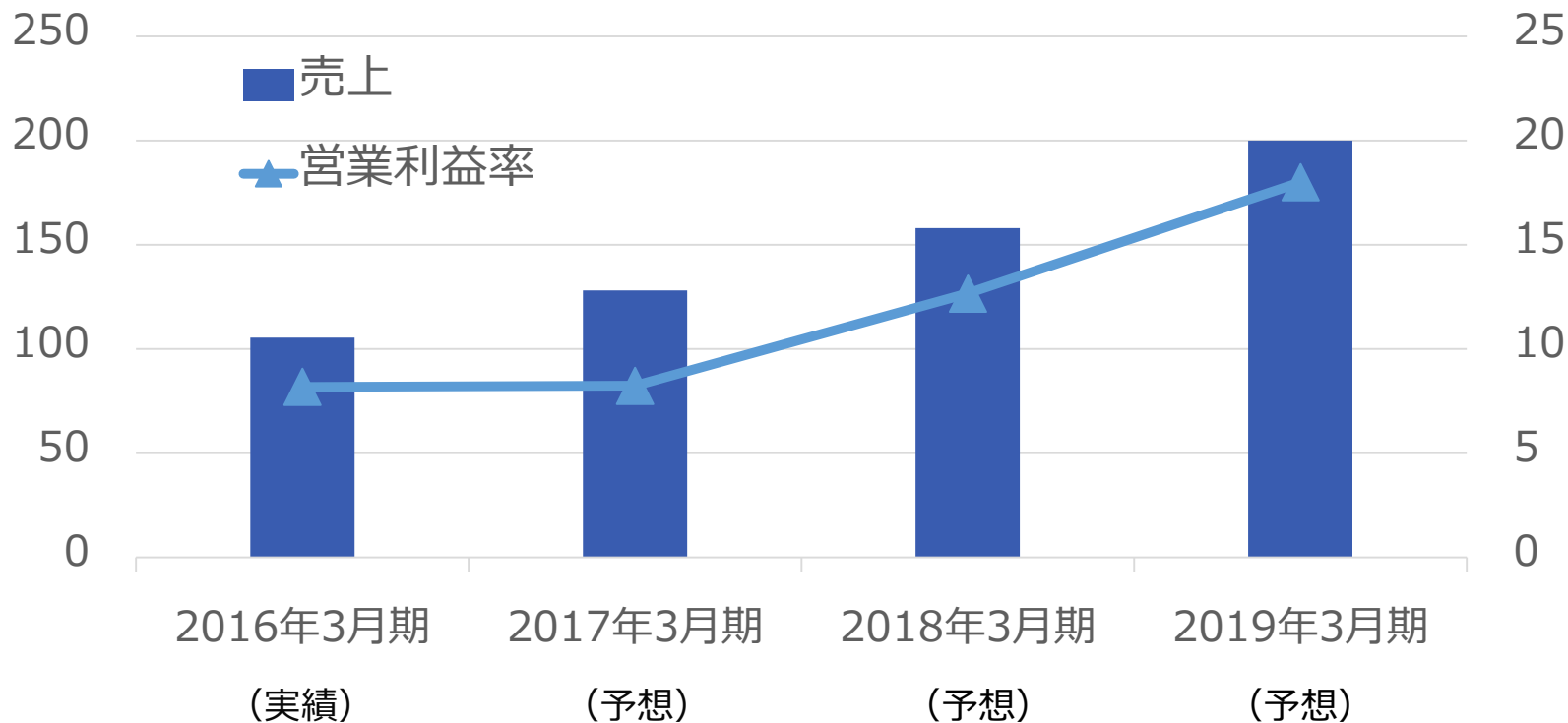
(日本基準)

リーガル事業今後の見通し (訂正前)

売上(億円)

営業利益率(%)

リーガル事業今後の見通し



2019年3月以降で売上高営業利益率20%以上を目標



人工知能 (KIBIT) は、日本語の“機微” (KIBI) と情報量の最小単位 “ビット” (BIT) の組み合わせで、「人間の機微を理解する人工知能」という意味の造語です。

お問い合わせ先

株式会社UBIC

東証マザーズ上場 | Nasdaq (ナスダック) 上場

TEL : 03-5463-6344 (代表)

E-mail : ir_info2014@ubic.co.jp

責任者: 管理本部長 谷口 正巳

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

訂正後

2016年3月期
第4四半期連結業績説明会
(抜粋)

2016.6.10

2016年3月期連結損益計算書 (訂正後)

(単位:百万円)	2015年3月期		2016年3月期					前年比	2016年3月期 修正通期予想	
	Q4	年度合計	Q1	Q2	Q3	Q4	年度合計	増減		
売上高	1,824	6,274	1,726	2,694	3,178	2,953	10,553	4,278	10,500	
売上原価	953	3,143	1,035	1,391	1,672	1,750	5,850	2,707		
売上総利益	871	3,131	691	1,302	1,506	1,202	4,702	1,571		
売上比率	48%	50%	40%	48%	47%	41%	45%	-5%		
販売費及び一般管理費	829	2,865	714	1,258	1,393	1,266	4,633	1,768		
営業利益	42	266	-22	43	112	-64	69	-196		240
売上比率	2%	4%	-1%	2%	4%	-2%	1%	-3%		2%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	0	-167	-45	45	-5	51	45	213		
経常利益	42	434	22	-1	118	-116	23	-410		230
売上比率	2%	7%	1%	0%	4%	-4%	0%	-6%		2%
特別利益(-)・損失(+)	0	0	0	0	0	32	32	32		
法人税等合計	22	172	40	118	77	-54	182	10		
少数株主利益	1	1	0	2	1	1	5	4		
当期純利益	18	260	-18	-123	39	-94	-196	-457	-50	
売上比率	1%	4%	-1%	-5%	1%	-3%	-2%	-6%	0%	

- 売上：Q4に予定していた高利益率のプロジェクトが次期にずれたものの、EvD, Inc.を買収した効果に加え、NYレビューセンター本格稼働によるレビュー売上の増加も増収に貢献した
- 原価：人工知能KIBITを使った新規事業開発費とレビューにかかる変動費により増加
- 販管費：買収関連費用255百万円、顧客関連資産及びのれんの償却費用180百万円、新規事業関連費用432百万円等により増加
- 利益：原価・販管費の増加に加え、急激な円の高騰による為替インパクトの影響もあり、当期は196百万円の純損失となった

(日本基準)

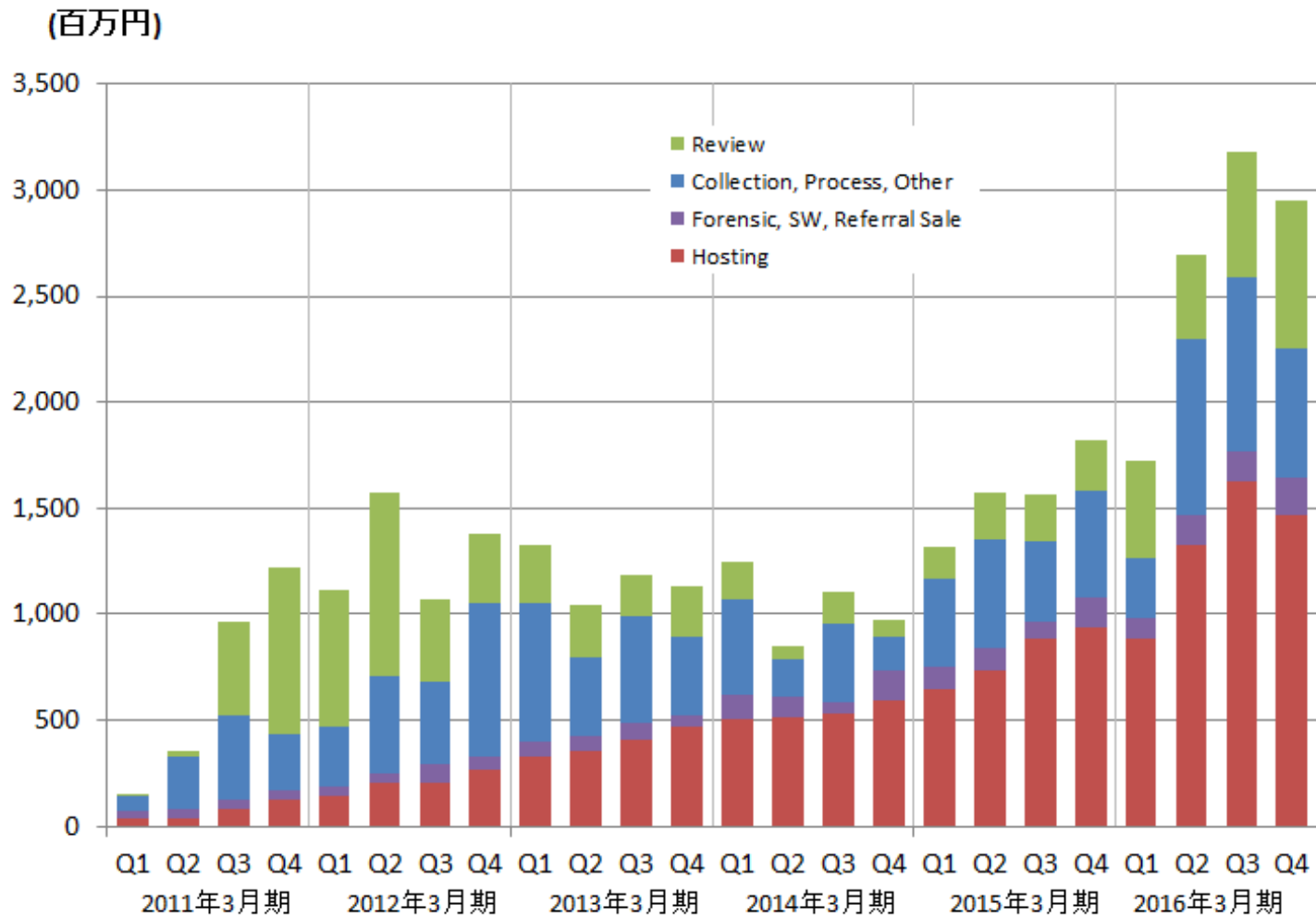
2016年3月期連結貸借対照表 (訂正後)

(単位: 百万円)	2015年3月期				2016年3月期				2015年3月比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	
資産の部										
現預金	1,237	1,903	2,095	2,726	2,527	2,353	2,254	1,798	-927	-34%
売掛金	1,216	1,386	1,318	1,569	1,471	2,914	3,004	<u>2,873</u>	<u>1,303</u>	<u>83%</u>
その他流動資産	400	463	439	327	427	645	735	<u>739</u>	<u>412</u>	<u>126%</u>
流動比率	326%	342%	306%	319%	295%	95%	163%	<u>154%</u>	-157%	
有形固定資産	716	748	788	783	807	906	1,122	<u>1,105</u>	<u>321</u>	<u>41%</u>
ソフトウェア	857	839	847	871	876	882	842	<u>888</u>	<u>17</u>	<u>2%</u>
のれん、顧客関連資産		498	543	541	541	3,953	4,522	<u>4,175</u>	<u>3,633</u>	
その他固定資産	591	823	803	822	1,050	1,190	1,148	<u>1,338</u>	<u>515</u>	<u>63%</u>
固定比率	64%	60%	61%	60%	65%	145%	160%	<u>168%</u>	99%	
資産合計	5,020	6,662	6,837	7,641	7,703	12,846	13,630	<u>12,918</u>	5,277	69%
負債・純資産の部										
流動負債	876	1,098	1,259	1,447	1,502	6,195	3,686	<u>3,504</u>	<u>2,056</u>	<u>142%</u>
固定負債	514	493	422	973	935	1,635	4,927	<u>4,758</u>	<u>3,785</u>	<u>389%</u>
純資産	3,629	5,070	5,155	5,220	5,265	5,015	5,016	<u>4,655</u>	<u>-564</u>	<u>-11%</u>
負債・純資産合計	5,020	6,662	6,837	7,641	7,703	12,846	13,630	<u>12,918</u>	5,277	69%

- 流動資産：EVD買収による売掛金の増加
- 固定資産：EVDの顧客関連資産及びのれんの計上による増加
- 流動負債：未払費用、未払金及び1年内返済予定長期借入金の増加
- 固定負債：EVD買収のための長期借入金、繰延税金負債の増加
- 為替の影響：当第4四半期の円の急騰から、のれん・顧客関連資産が減少

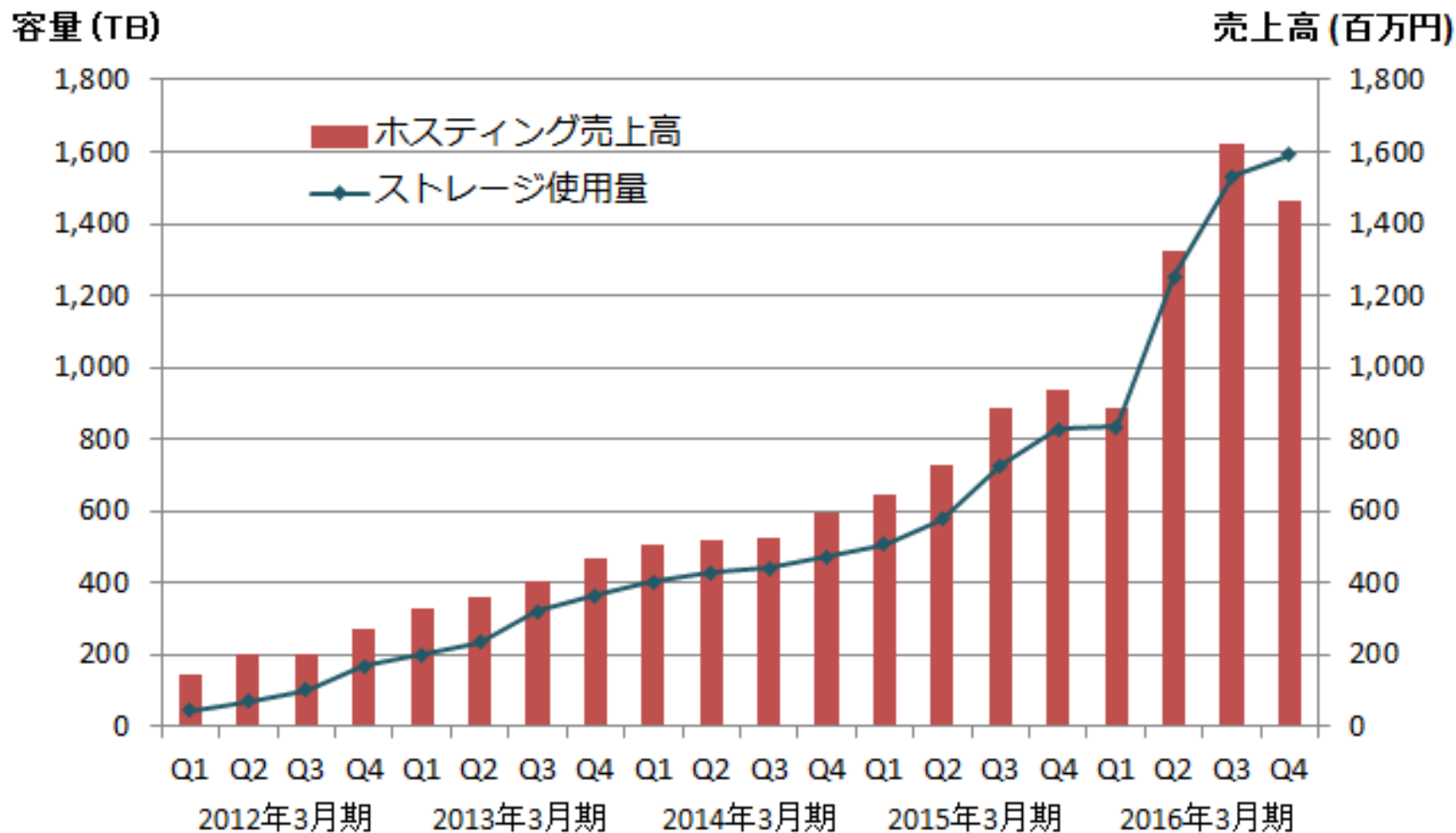
(日本基準)

連結売上 / サービスタイプ別 (訂正後)



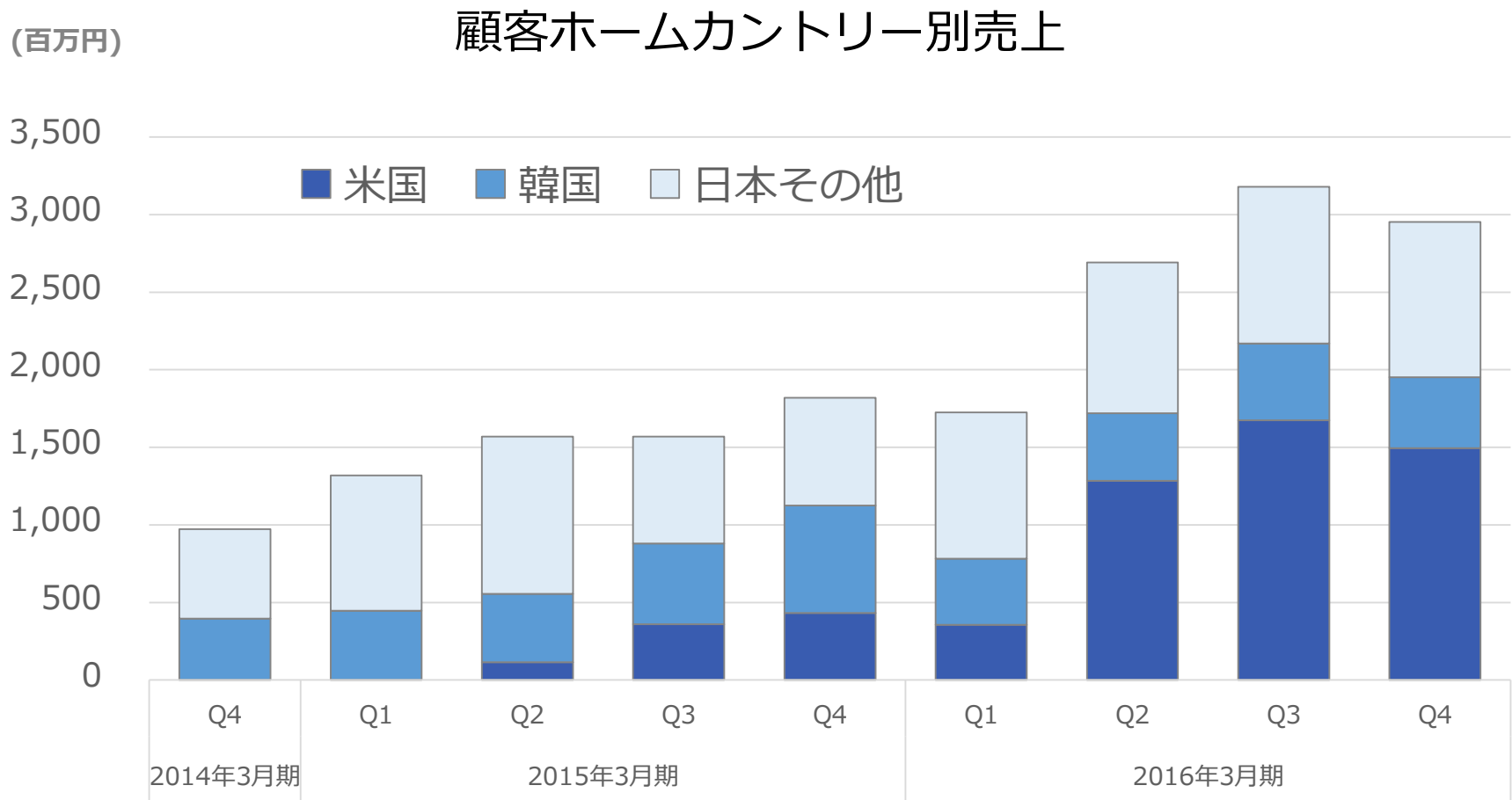
(日本基準)

インテリジェンスクラウドのストレージ使用量 / ホスティング売上高 (訂正後)

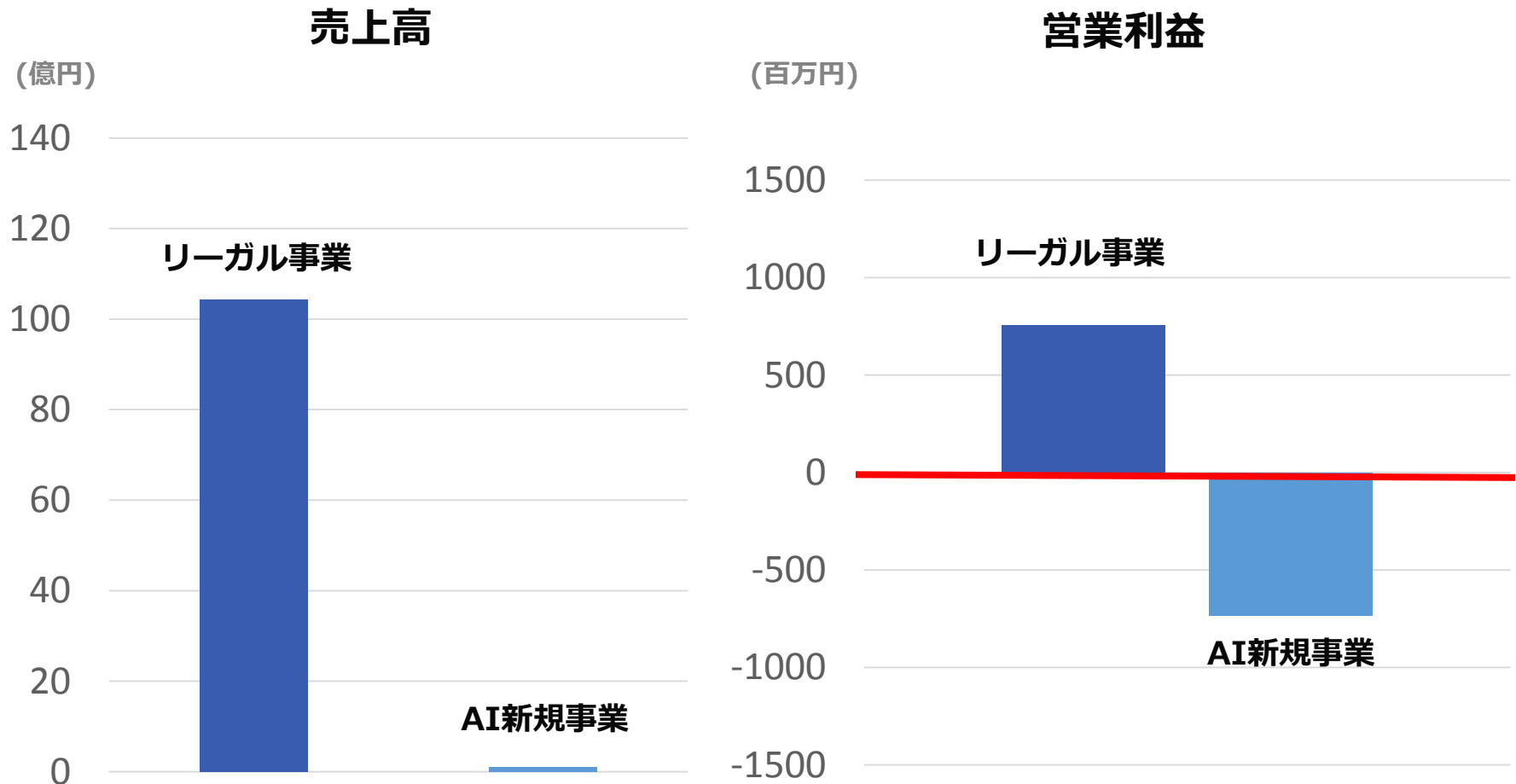


(日本基準)

米国・韓国セクションからの売上 (訂正後)



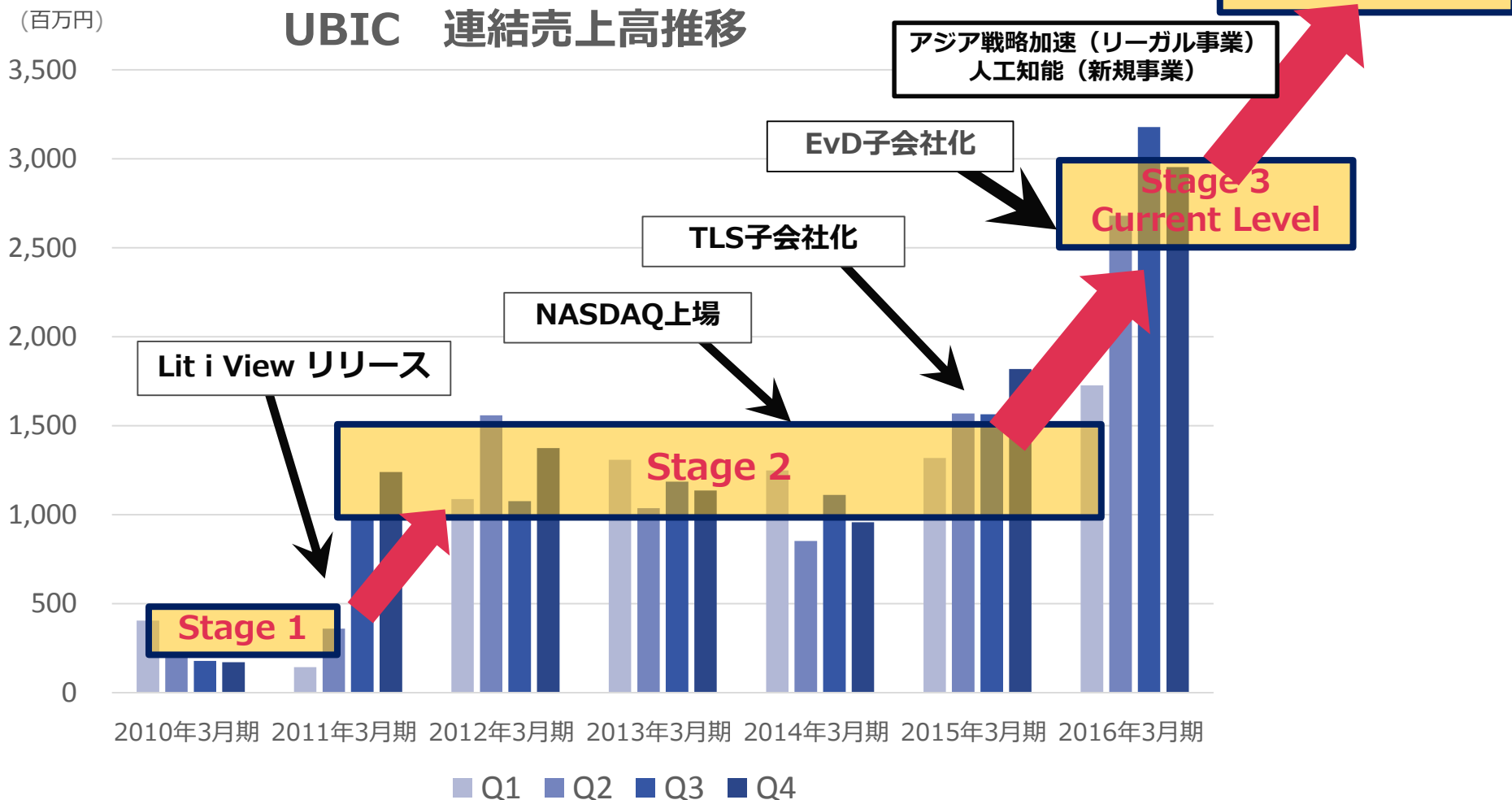
2016年3月期リーガル事業・AI新規事業の売上比較 (訂正後)



リーガルビジネス： M&Aの効果もあり大幅売上げ。
AI新規事業： AI新規事業体制構築を開始。投資先行モード。

Next Levelへの成長戦略 (訂正後)

UBIC 連結売上高推移



2017年3月期 ガイダンス (訂正後)

(単位:百万円)	2016年3月期	2017年3月期ガイダンス	増減
売上高	<u>10,553</u>	13,100	<u>2,547</u>
売上原価	<u>5,850</u>		
売上総利益	<u>4,702</u>		
売上比率	45%		
販売費及び一般管理費	<u>4,633</u>		
営業利益	<u>69</u>	95	<u>26</u>
売上比率	1%	1%	
営業外収益・費用 (Net)	<u>45</u>		
経常利益	<u>23</u>	70	<u>47</u>
売上比率	0%	1%	
特別利益(-)・損失(+)	<u>32</u>		
法人税等合計	<u>182</u>		
少数株主利益	<u>5</u>		
当期純利益	<u>-196</u>	0	<u>196</u>
売上比率	-2%	0%	

- リーガルビジネス売上は安定した増加を見込んでいる。そこから生み出された収益をAI事業の拡大に投資し、将来の成長や競争力強化を狙う
- 配当予測：AI事業構築への投資を優先するため、無配とする

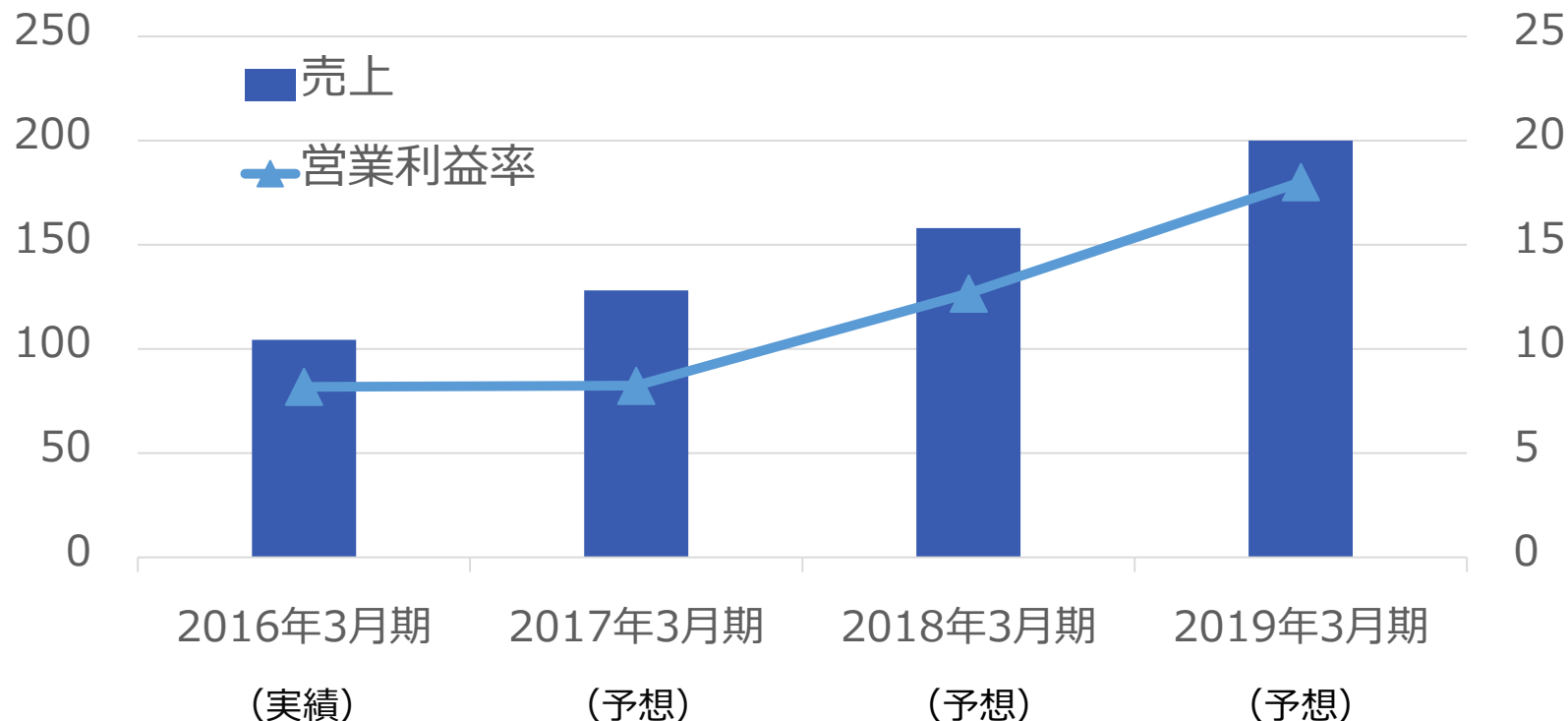
(日本基準)

リーガル事業今後の見通し (訂正後)

売上(億円)

営業利益率(%)

リーガル事業今後の見通し



2019年3月以降で売上高営業利益率20%以上を目標



人工知能 (KIBIT) は、日本語の“機微” (KIBI) と情報量の最小単位“ビット” (BIT) の組み合わせで、「人間の機微を理解する人工知能」という意味の造語です。

お問い合わせ先

株式会社UBIC 東証マザーズ上場 | Nasdaq (ナスダック) 上場

TEL : 03-5463-6344 (代表)

E-mail : ir_info2014@ubic.co.jp

責任者: 管理本部長 谷口 正巳

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。